

(様式3)

農業研究成果情報

No.453

(平成22年5月)分類コード01-11

熊本県農林水産部

飼料用トウモロコシ優良品種「九交136号」の生育特性

飼料用トウモロコシ優良品種である春播き品種「九交136号」は、収量性が良好で生産収量の向上が期待される。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室(担当者:原野幸子)

研究のねらい

熊本県における自給飼料の生産拡大を推進するため、飼料用トウモロコシの栽培試験を行い、生育・収量に関する品種特性を比較調査するとともに、地域への適応性を検討し、熊本県の奨励品種選定に資する。

研究の成果

- 1 「九交136号」の生育状況は、比較品種と同等に良好である。(表1)
- 2 「九交136号」の紋枯病発生状況は、比較品種と同程度の発生である。(表2)
- 3 「九交136号」の茎葉乾物収量および総乾物収量は、比較品種と同等の収量である。(表3)

比較品種：過去3年間のデータに基づいて熊本県で奨励・有望品種に指定されている品種

普及上の留意点

- 1 生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。

表1 生育状況

品種	発芽良否			播種～絹糸抽出日数			桿長			着雌穂高			着雌穂高/桿長			
	極不良1～極良9			日			cm			cm			%			
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	
九交136号	8.4	9.0	9.0	76.0	82.7	76.3	290.9	290.2	136.3	159.3	147.7	54.7	50.9			
比水材ニア115日	8.7	9.0	8.7	73.0	81.3	76.0	221.8	271.5	274.2	131.0	150.8	148.8	59.1	55.5	54.2	

播種期

H19 :平成19年4月17日

H20 :平成20年4月2日

H21 :平成21年4月3日

比:

比較品種

表2 病害虫等状況

品種	倒伏			折損			虫害			根腐病			紋枯病		
	%			%			%			%			%		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
九交136号		0	0		0	0	0	0	8.3	0	0	0	0	0	98.3
比水材ニア115日	0	0	0	0.4	0	0	0	0	0	0	0	1.7	0	0	83.3

比:

比較品種

表3 収量

品種	有効雌穂割合			茎葉乾物収量			雌穂乾物収量			乾物雌穂割合			総乾物収量		
	%			kg/a			kg/a			%			kg/a		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
九交136号	78.3	98.3	98.2	132	112	108	32	110	81	19.3	49.4	42.8	164	222	189
比水材ニア115日	98.3	100.0	100.0	93	97	101	58	115	88	38.4	54.2	46.6	151	212	189

比:

比較品種